

「山口県新型コロナウイルス感染症対策本部」

第34回本部員会議

日時：令和4年1月24日(月) 13:30～

場所：県庁4階 共用第1会議室

< 次 第 >

1 開会

2 議題

(1) 現在の発生状況について

(2) その他

3 閉会

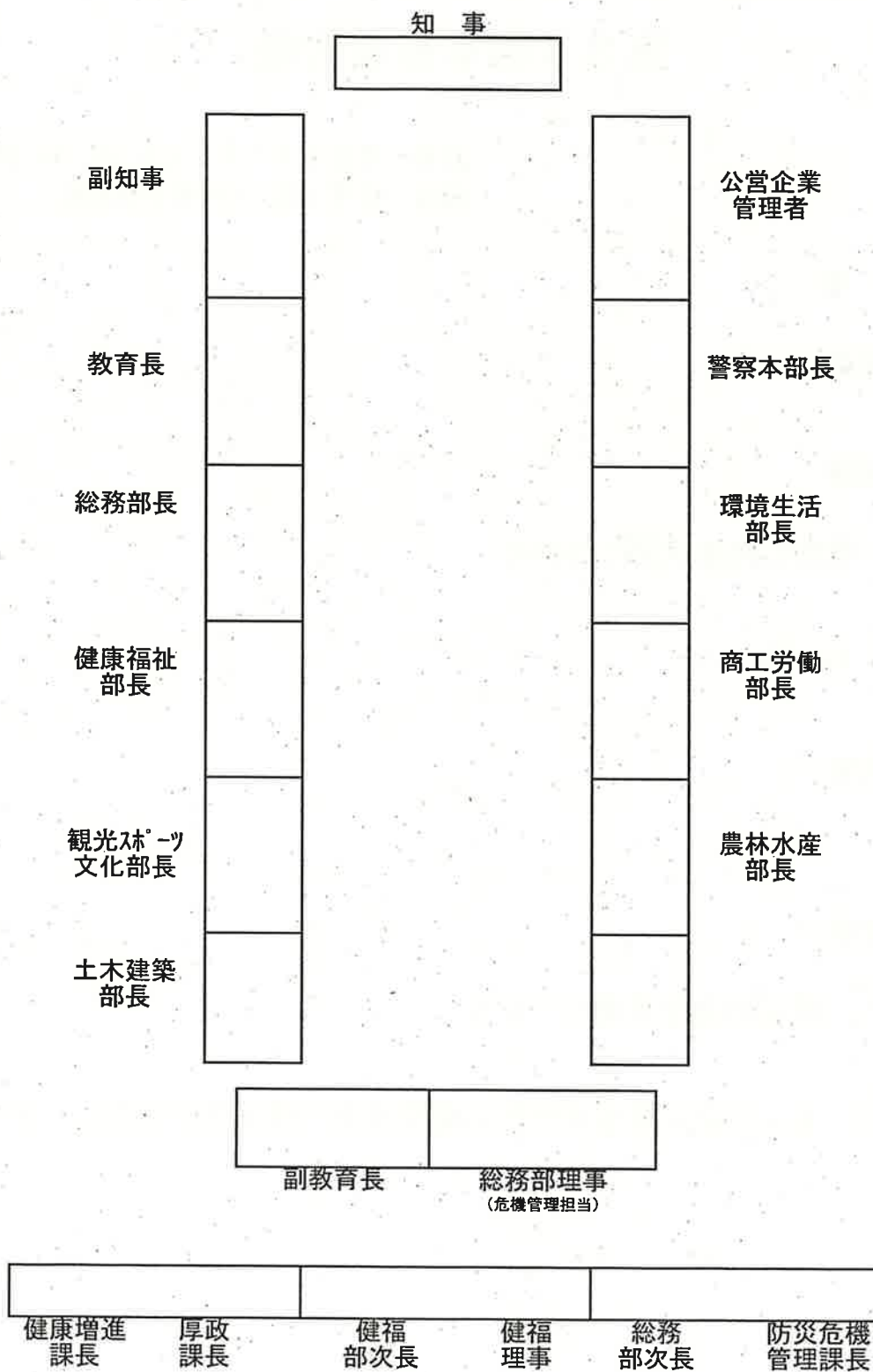
<配布資料>

資料1 現在の発生状況について

資料2 まん延防止等重点措置の期間延長に係る県の対応について

山口県新型コロナウイルス感染症対策本部 第34回本部員会議 配席図

日時：令和4年1月24日(月)13:30～
 場所：県庁4階 共用第1会議室



山口県新型コロナウイルス感染症対策本部 第34回本部員会議

日時：令和4年1月24日(月)13:30～

場所：県庁4階 共用第1会議室

- 1 本部長 知事
- 2 副本部長 副知事
- 3 本部員

部局名	本部員
総務部	総務部長 総務部理事（危機管理担当）
総合企画部	総合企画部長
環境生活部	環境生活部長（環境生活部次長代理出席）
健康福祉部	健康福祉部長
商工労働部	商工労働部長
観光スポーツ文化部	観光スポーツ文化部長
農林水産部	農林水産部長
土木建築部	土木建築部長
企業局	公営企業管理者
教育庁	教育長 副教育長
警察本部	警察本部長

まん延防止等重点措置の期間延長に係る県の対応について

本県においては、まん延防止等重点措置が1月9日から1月31日まで適用されたことに伴い、岩国市及び和木町を措置区域として、飲食店等への営業時間短縮要請など、感染拡大防止集中対策を実施しているところである。

しかしながら、全国的にオミクロン株による感染が拡大し、近隣県等の急速な感染拡大の影響が及ぶことも懸念されるとともに、県内全域で感染が拡大し、医療提供体制への負荷が高まりつつあることから、現在適用されているまん延防止等重点措置の期間延長を国へ要請する。

なお、国において、この期間延長が決定された場合は、下記の方針に沿って対応する。

記

1 まん延防止等重点措置の措置区域
県内全域

2 飲食店等への営業時間短縮要請

(1) 期間

令和4年2月1日(火)～国において決定された期間

(2) 対象業種

食品衛生法に基づく営業の許可を取得している飲食店・喫茶店
※テイクアウト等を除く

(3) 要請内容

ア 「やまぐち安心飲食店」(認証店)

①5時～21時までに短縮(酒類の提供は11時～20時)

②5時～20時までに短縮(酒類の提供不可)

※事業者が①か②を選択

イ 認証店以外の飲食店・喫茶店

5時～20時までに短縮(酒類の提供不可)

(4) 協力金

売上高に応じて3～10万円/日

※(3)ア①の場合は、売上高に応じて2.5～7.5万円/日

3 県民・事業者への要請

本県の感染状況を踏まえ、現在実施している集中対策の期間を延長するとともに、感染拡大防止に向けた取組を改めて要請する。

4 その他

国の「事業復活支援金」とは別に、売上が大きく減少した県内全域の中小事業者に対して事業継続の支援金を支給(協力金の対象事業者は対象外)

※2月の売上が30%以上減少、法人：20万円 個人：10万円

現在の発生状況について

全世界及び日本国内の発生状況

※厚生労働省公表数値

○全世界（1/23 15:00時点） 【日本を除く】

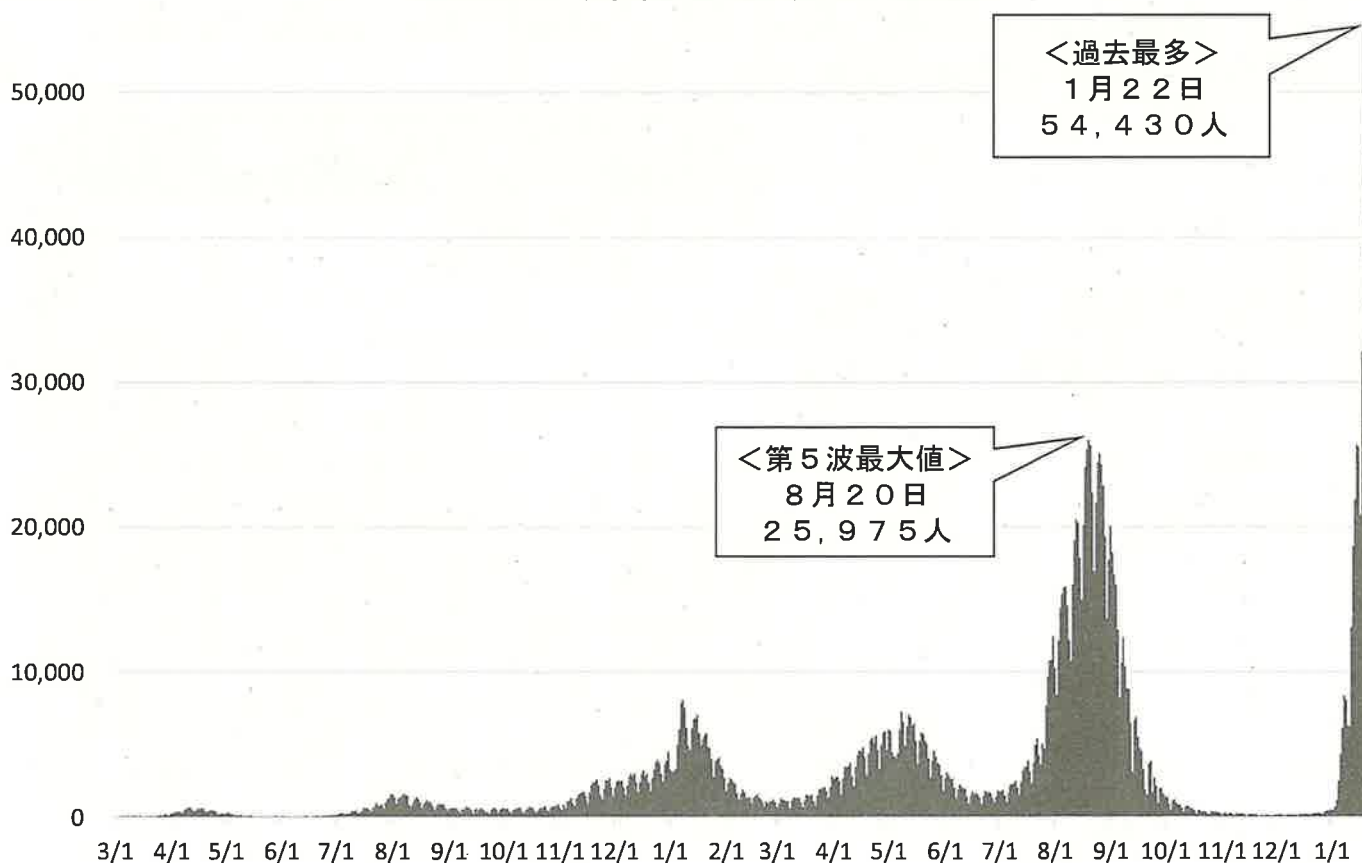
感染者数	死亡者数	※感染者の多い国 米国(70,494,744)、インド(38,903,731)、 ブラジル(23,931,609)、フランス(16,506,090)
346,673,354	5,572,686	

○日本国内（1/24 0:00現在）

	PCR検査 実施人数	陽性者数	入院治療等を 要する者の数 (うち重症者数)	退院又は 療養解除と なった者の数	死亡者数	確認中
①国内事例 (③除く)	30,414,054	2,160,796	322,100(439)	1,808,242	18,498	13,674
②空港、海港検疫	1,415,371	8,842	3,003(0)	5,831	8	0
③チャーター便 帰国者事例	829	15	0(0)	15	0	0
計	31,830,254	2,169,653	325,103(439)	1,814,088	18,506	13,674

1

全国の新規感染者の推移



2

本県の感染状況 (1/23時点)

○感染者数 (累計)

10,248人 (うち死亡95人)

○現在の療養者数

療養者数	入院者数					宿泊療養者数等
	重症	中等症		軽症・無症状	計	
		II	I			
2,677人	1人	41人	53人	190人	285人	2,392人

○1月以降の市町別感染者数 (4,397人)

下関市	699	宇部市	154	山口市	255
萩市	141	防府市	384	下松市	220
岩国市	1,401	光市	114	長門市	23
柳井市	106	美祢市	37	周南市	446
山陽小野田市	58	周防大島町	134	和木町	47
上関町	1	田布施町	12	平生町	43
阿武町	1	県外	121	※居住地確認中のものを除く	

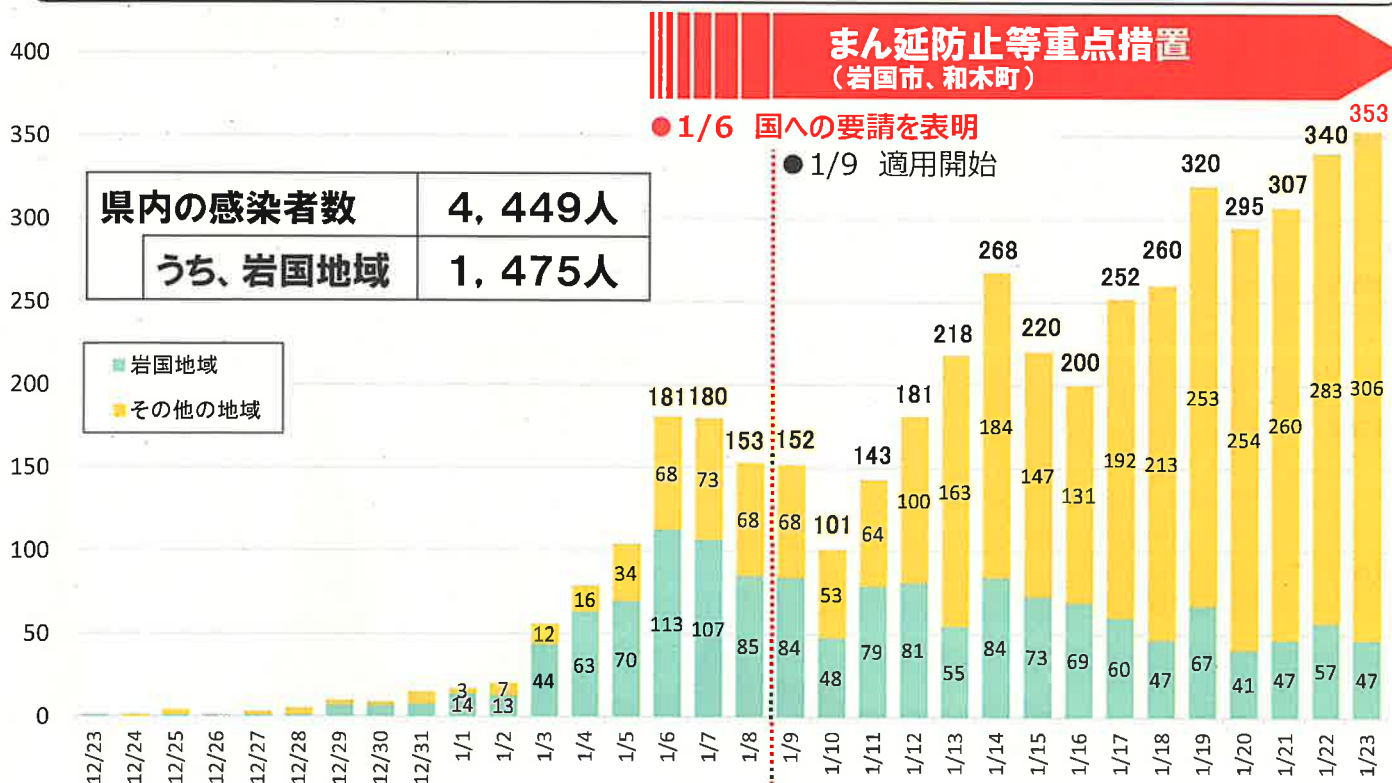
○PCR等検査 (R2.2.15~R4.1.16)

累計 256,718件 (1/10~1/16実績 21,259件)

3

県内の新規感染者の発生状況 (12/23~1/23 <32日間>)

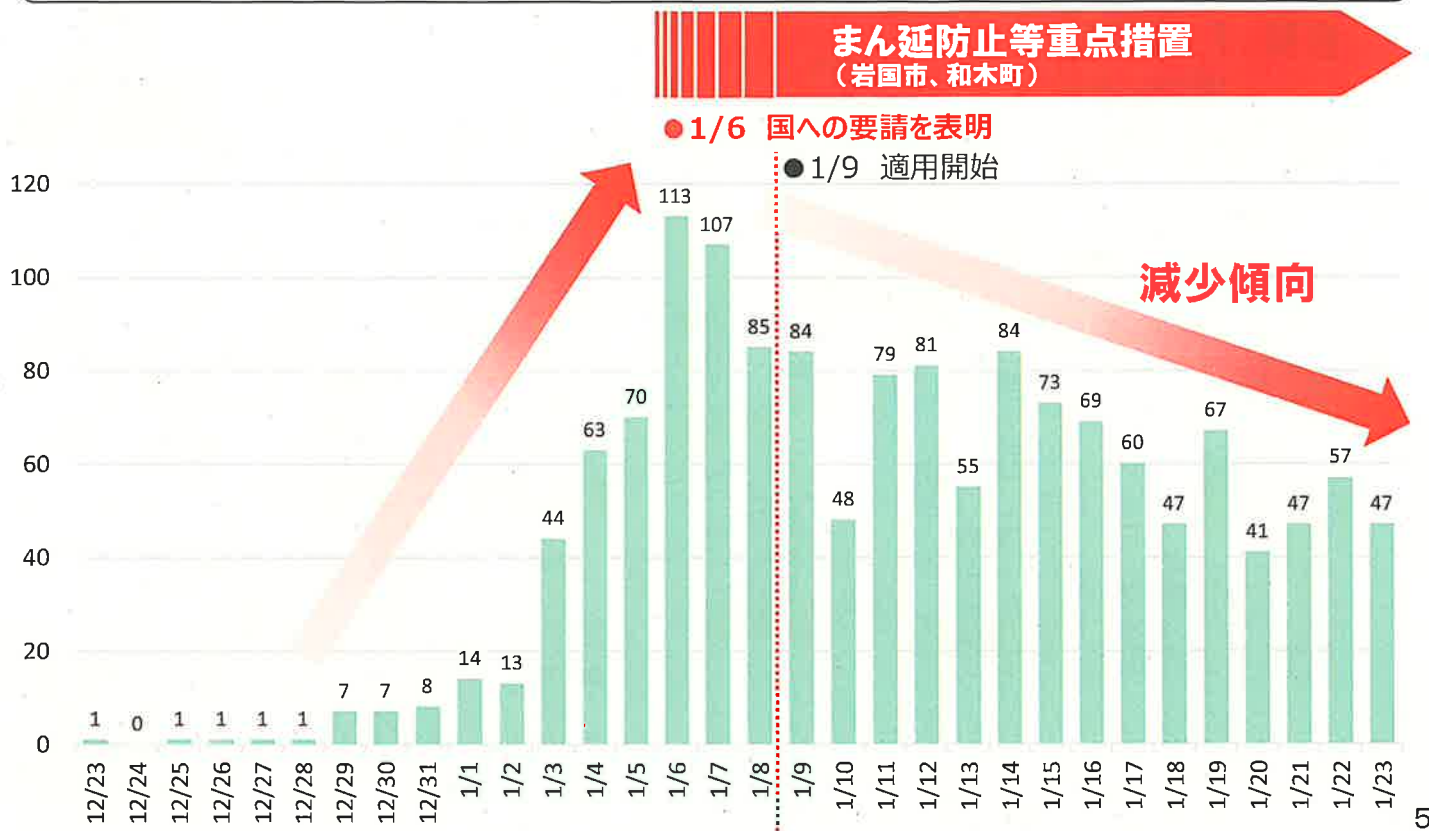
・県内の新規感染者数は増加傾向にあり、岩国地域における限局的な感染に止まらず、県内各地で感染が拡大している。



4

岩国地域の新規感染者数 (12/23~1/23)

・まん延防止等重点措置の適用以降、感染者数は減少傾向。



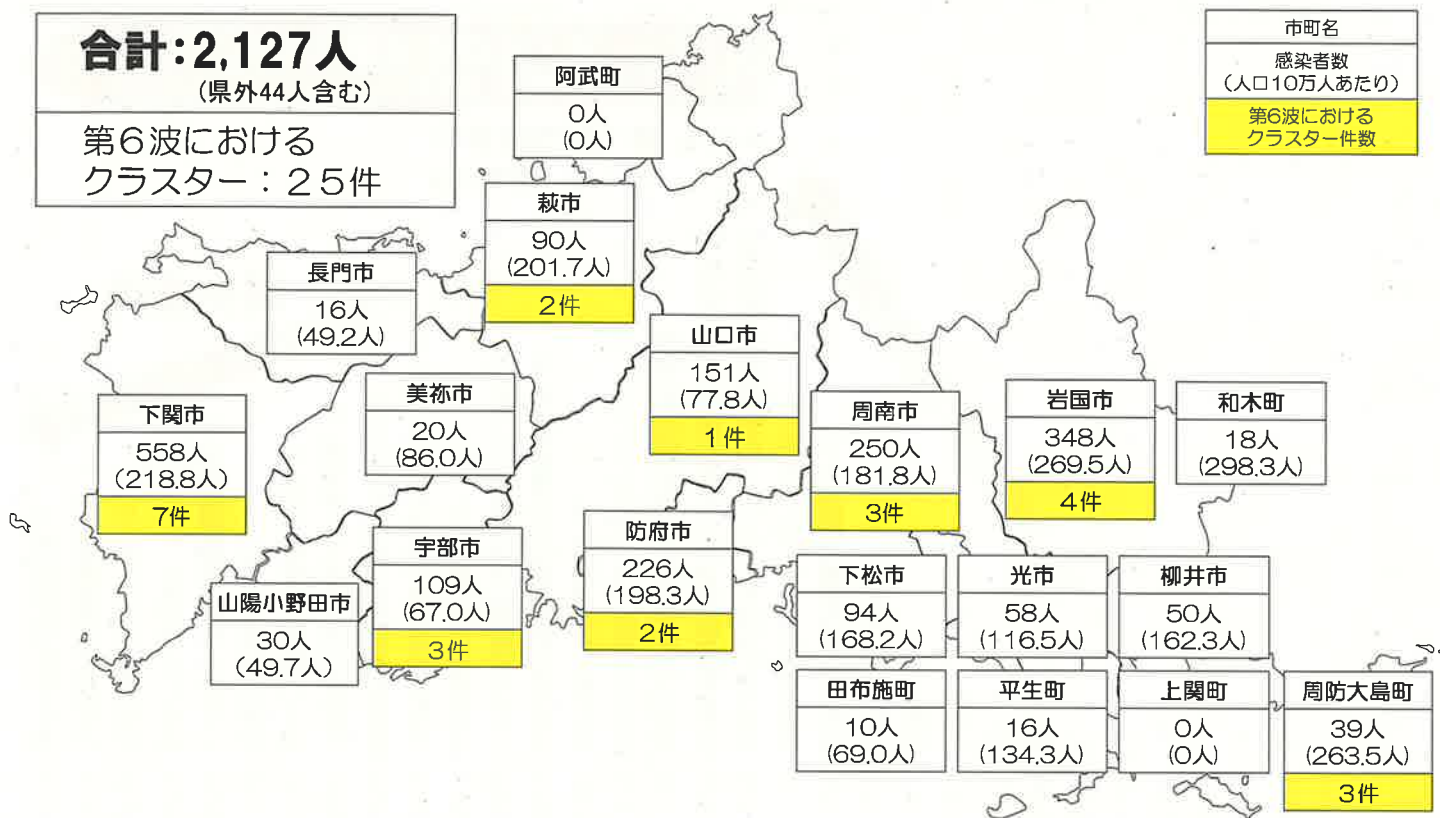
その他地域の新規感染者数 (12/23~1/23)

・感染者数は拡大傾向にあり、さらなる拡大が懸念される。



市町別の感染状況

<1/17~1/23(直近1週間)の人口10万人あたりの新規感染者数>



7

クラスター発生状況

- ・1月以降、25件のクラスターが発生。
- ・そのうち、13件が医療機関、高齢者・障害者施設で発生。

認定日	市町名	クラスター名	陽性者数
1	1/6	岩国市 医療機関クラスター	12
2	1/9	周防大島町 同級生の会食クラスター	20
3	1/11	周防大島町 高齢者施設クラスター	60
4	1/11	萩市 高齢者施設クラスター	18
5	1/12	下関市 漁船内におけるクラスター	9
6	1/14	下関市 漁船内におけるクラスター	7
7	1/14	下関市 同級生の会食クラスター	7
8	1/14	防府市 医療機関クラスター	92
9	1/15	下関市 漁船内におけるクラスター	5
10	1/15	下関市 就学前施設クラスター	55
11	1/15	周南市 部活動クラスター	24
12	1/15	宇部市 友人同士による飲食クラスター	7

13	1/16	岩国市 障害者施設クラスター	26
14	1/16	萩市 就学前施設クラスター	49
15	1/17	下関市 漁船内におけるクラスター	5
16	1/17	岩国市 障害者施設クラスター	19
17	1/17	周防大島町 高齢者施設クラスター	27
18	1/17	周南市 医療機関クラスター	28
19	1/17	防府市 部活動クラスター	29
20	1/18	下関市 高齢者施設クラスター	9
21	1/19	岩国市 高齢者施設クラスター	15
22	1/21	周南市 高齢者施設クラスター	32
23	1/21	宇部市 障害者施設クラスター	6
24	1/22	宇部市 医療機関クラスター	14
25	1/22	山口市 就学前施設クラスター	9
合計(25件)			584人

入院患者の症状別内訳 (12/23~1/23)

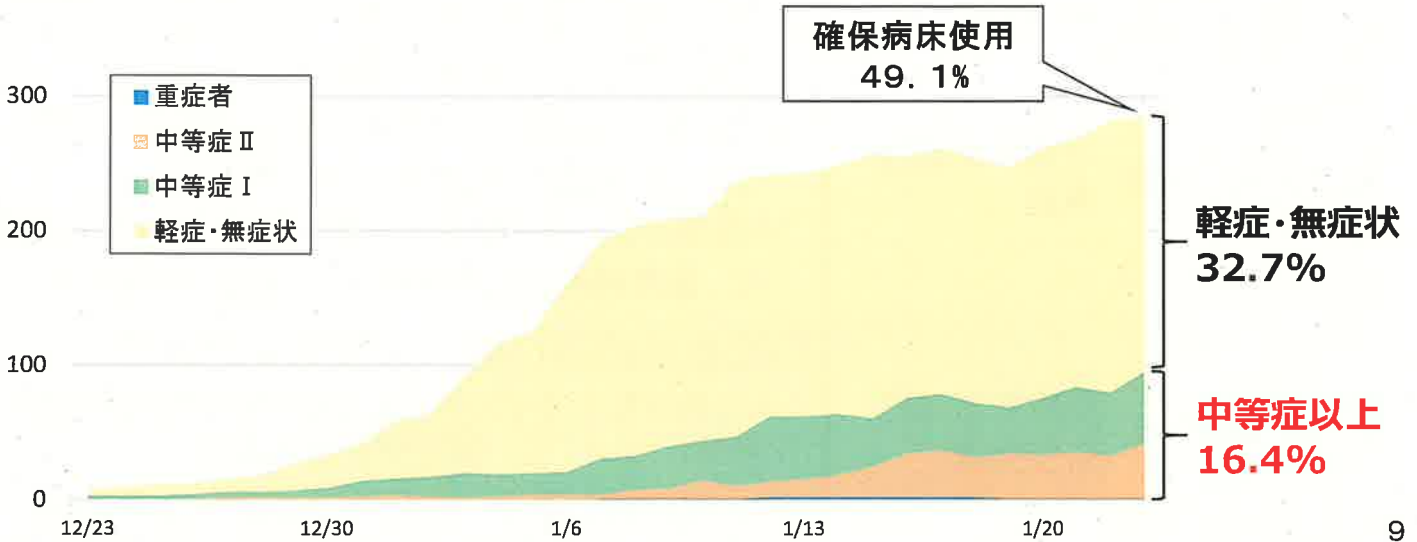
- ・入院患者数は増加しているものの、現在、重症者は、高齢で基礎疾患のある方 1名と限定的。
- ・中等症以上の患者比率は、確保病床数の約 16%と低い。
(第4波…42%、第5波…30%)

確保
病床数

549床

581床

(1/17~)



9

モニタリングの状況

モニタリング指標		現状値 (1/23)	レベル2~4の基準値		
			レベル2	レベル3	レベル4
医療提供体制	① 確保病床使用率	49.1% (285床)	20%以上 (117~290床)	50%以上 (291床以上)	100%超
	② 重症病床使用率	2.1% (1床)	20%以上 (10~23床)	50%以上 (24床以上)	100%超
	③ 3週間後に必要と予測される病床数(推計値)	—	—	確保病床数以上	—
	④ 療養者数 【人口10万人あたり】	2677人 【199.5人】	320人以上 【23.8人以上】	800人以上 【59.6人以上】	1400人以上 【104.3人以上】
感染状況	⑤ 直近1週間の新規感染者数 【人口10万人あたり】	2127人 【158.5人】	204人以上 【15人以上】	340人以上 【25人以上】	—
	⑥ 直近1週間のPCR検査等陽性率(1/10~16)	6.26%	5%以上	10%以上	—
	⑦ 直近1週間の感染経路不明な者の割合(1/8~14)	27.3%	50%以上	50%以上	—

7指標のうち4指標で「レベル2」以上となり、医療提供体制に負荷がかかっている。
現時点は「レベル2」と判断しているが、感染拡大が続いており、予断を許さない状況。

- 〔参考〕
- レベル0…新規感染者数ゼロを維持できている状況
 - レベル1…一般医療とコロナ医療の両立ができている状況
 - レベル2…医療の負荷が生じはじめている状況
 - レベル3…一般医療を相当程度制限しなければ対応できない状況
 - レベル4…一般医療を大きく制限しても対応できない状況

濃厚接触者等の調査及び検査

感染スピードが速いオミクロン株の特性を踏まえ、**濃厚接触者の把握を迅速に行う**ため、調査及び検査を**重点化・効率化**。

項目	従前	変更後
1 対象者	濃厚接触者を含め、接触者を幅広く対象	○濃厚接触者に重点化 ⇒「同居者」及び「マスクなしで15分以上、1m以内で接触したことが明らかな者」
2 調査方法	保健所が直接実施	○職場等の協力を得て効率化 ⇒クラスター化のリスクの高い施設関係者等については、引き続き、保健所が直接調査 ⇒保健所から依頼を受けた職場や学校等の管理者は、濃厚接触者名簿を作成し、保健所に報告
3 検査方法	保健所が全件直接実施	○緊急度の高い者への検査を迅速化 ⇒同居家族やクラスター化のリスクの高い施設関係者等については、保健所が直接実施 ⇒上記以外の者は、検査キットの送付により対応

11

まとめ

- ・ 県内の新規感染者数は増加傾向にあり、岩国地域の限局的な感染に止まらず、県内各地で感染が拡大している。
- ・ 岩国地域では、まん延防止重点措置の適用以降、感染者数は減少傾向にあるものの、依然高い水準。
- ・ その他の地域については、感染者数は拡大傾向。
- ・ 中等症以上の割合が低く、医療提供体制については、現時点、一定程度の負荷はあるものの、一般医療に制限をかけなければ対応できない状況とはなっていない。